

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	栃木県	事業実施主体	芳賀町	地域再生計画名	鉄道のない町 移住定住促進プロジェクト
計画期間	令和5年度～令和9年度	評価責任者	芳賀町 都市計画課長 大峯 俊幸		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	人口減少の改善	14,851人	R4	14,811人	R7	14,465人	14,820人	R9	×	指標 総数	達成 数	中間目標を346人下回っており、最終目標値まで355人の人口増が必要なことから、目標達成が厳しい状況である。
	指標 2	梨（にっこり）販売額	60,150千円	R2	110,000千円	R7	188,676千円	120,000千円	R9	○	3	2	現時点で中間目標値、最終目標値を達成している。引き続き取り組みを実施していく。
	指標 3	観光入込客数	406,037人	R3	575,000人	R7	615,626人	625,000人	R9	○			現時点で中間目標値は達成している。最終目標に向けて引き続き実施していく。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (R7)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業 （祖母井地区、下原地区）	管路 5,153m マンホール ポンプ 1箇所	管路 3,619m	マンホール ポンプ 1箇所	当初計画に対して、比較的順調に進行しており、祖母井地区については概ね整備を完了している。下原地区についても計画期間内に完了できるよう、引き続き計画的な整備を進めていく。								
	個人設置型合併浄化槽整備事業	81基	67基	令和7年度に補助が完了している。計画整備量を多少下回るものの、概ね計画どおり事業を完了した。									
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	移住定住支援	定住促進補助金により人口減少の改善を図る	町外からの移住者の増加及び町外への人口流出を抑制することにより定住人口の増加を図る。										
	浄化槽台帳整備事業	浄化槽台帳を電子化する	浄化槽台帳を電子化することによって、浄化槽の維持管理の効率化を図る。										
	LRT整備事業	本町と宇都宮市との交通ネットワークの強化を図る	本町と宇都宮市との交通ネットワークの強化を図り、広域的な公共交通ネットワークを形成する。										
③評価方法	評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	芳賀町ホームページにて公表												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用した公共下水道及び浄化槽の整備を一体的に推進することにより、宅地需要が高まっているエリアにおける安全で利便性の高い生活拠点の形成や農村地域における生活環境の改善、農業に適した水質の確保、美しい水辺環境の確保を図り、移住支援や農作物のブランド化支援、桜堤遊歩道整備を実施することで、地域全体として人口減少の抑制、稼げる地域づくり及び関係人口・交流人口の創出を図ることを目的としている。 指標2、3については、中間目標を達成しており、最終目標値についても概ね達成できる見込みとなっているが、指標1の中間実績が目標値を下回っているため、少しでも最終目標値に近づけるよう引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）												
	令和9年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応	引き続き、地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用し、公共下水道について、地域・地形の特性を考慮しながら計画的に整備を進めていく。 指標1「人口減少の改善」が達成していないため、美しい水辺環境を確保するとともに、移住定住支援事業などの独自事業を継続することで人口減少の改善を図っていく。												